

平成 27 年度第 5 回総合教育会議 会議録

1. 開催日時 平成 27 年 12 月 7 日（月） 14:00～15:30
2. 開催場所 岸和田市役所職員会館 2 階大会議室
3. 公開・非公開 公開
4. 出席者（構成員）信貴市長、谷口委員長、野口委員長職務代理者、中野委員、川岸委員、樋口教育長
（司会）企画調整部：森口部長
（事務局）政策企画課：藤浪課長、藤井総合調整担当主幹
（関係者）教育総務部：西川部長、総務課：大西課長、高井調整参事
学校教育部：須賀部長、学校教育課：松村課長
生涯学習部：松阪部長、生涯学習課：大和課長
5. 傍聴人数 2 名
6. 会議資料
 - ・平成 27 年度第 5 回総合教育会議 次第
 - ・資料 1 岸和田市総合教育会議委員名簿
 - ・資料 2 岸和田市教育大綱案・新旧対照表
 - ・資料 3 岸和田市教育大綱（案）

7. 内 容

<司会>

定刻になりましたので、只今から平成 27 年度第 5 回岸和田市総合教育会議をはじめさせていただきます。会議の進行を務めさせていただきます、企画調整部の森口でございます。よろしく願いいたします。はじめに、信貴市長から開会の挨拶をお願いいたします。

<信貴市長>

この総合教育会議も数えること 5 回目となりました。平素から、委員の皆様方には、岸和田らしさ、岸和田の誇りを大切に残していただいていることに、改めて感謝するしだいです。

岸和田らしさ、そして、子育てしやすいまちづくりを私の基本施策として掲げているわけですが、ナショナルミニマム、とりわけ、子どもの医療費助成を中学校卒業まで全額国費で実施すべきということを、市長会として、国に要望していくことになりました。一方で、給食につきましても、ナショナルミニマムで、都市間競争をすべきでないという動きもございます。また、教育環境として、近年の地球温暖化の影響により、夏場、教室が高温になることから、エアコンの整備も都市間競争の波にさらされるようです。

先日、はじめて府内 43 市町村が一堂に会しまして、国土強靱化地域計画などいろいろな問題を整理しながら、今、申しました事柄を、市長会と町村長会がそれぞれあるのですが、これからオール大阪で、ワン大阪で話しを聞こうということになっています。

そのような中で、岸和田らしさを前面に出していくために、給食につきましては、念願の

中学校給食センターの整備を、2月完成を目指して取り組んでおります。安全安心な給食の提供はもとより、これまで小学校の給食においては、岸和田らしさが出せていた部分もございます。アレルギーのことにつきましても、岸和田らしさというものも再考しなければならない時期にきております。また、先程のエアコン整備についても、リース方式など、さまざまな事例を参考にしながら、子どもの教育環境の整備について遅滞なく進めていけるよう、教育委員の皆様方のご協力をいただきながら、市長部局も邁進に努めてまいりますので、今後とも変わらないご支持とご支援をお願いし、冒頭の挨拶とさせていただきます。

本日は、教育大綱をいよいよ固めていかなければならない段階にきております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

<司 会>

続きまして、本日の会議の会議録をご確認いただく委員の方の選任を行います。岸和田市総合教育会議運営要綱第4条第2項の規定より、市長と、市長が指名した出席者1名の方に会議録をご確認の上、ご署名いただきます。

前回の会議において、資料1の委員名簿順でかつ、これまで選任されていない委員の方を優先をお願いすることを確認いたしましたので、本日は、樋口教育長にお願いします。樋口教育長 よろしく申し上げます。

それでは、次第に沿いまして、会議事項「2. 教育大綱の策定について」、事務局から資料の説明をお願いします。

<事務局>

それでは資料2、3について、ご説明いたします。まず、A4横サイズの「資料2：岸和田市教育大綱案 新旧対照表」をお願いします。前回の総合教育会議におきまして、委員の皆様からのご意見を反映させた修正案を左側に、右側に従前のものを見え消しで表記した、いわゆる新旧対照表形式となっています。それぞれの基本方針の冒頭に、前回の総合教育会議における修正についてのご意見の要旨を記載しております。概ね、ご意見を反映させていただいたところですが、数点について、ご説明いたします。

1頁、冒頭の共通事項の欄をご覧ください。「全体を通じて、“教育を行います” “教育を充実させます” や “指導します” “指導を充実させます” “指導を行います” など、表現が混在しているため、整理する必要がある」とのご意見をいただきました。これにつきましては、これまで実施してきた取組をさらに拡充する場合は“拡充します”、これまで実施してきた取組をさらに充実させる場合は“充実します、強化します”、新たなことやこれまで積極的にできなかったことに今後取り組む場合は“整備します、検討します、活用します”と整理しております。

3頁の基本方針3をご覧ください。意見要旨欄中の3つ目「(5)国際性を育む教育の充実中の“自国”を“我が国”とした方がわかりやすいのではないか」というご意見をいただきました。これにつきましては、外国籍の子どもたちが、自分の国の文化や伝統に誇りを持つという視点も含まれていることから、“自国”という表現にしております。

次に、4頁の基本方針4をお願いします。意見要旨欄中の1つ目「(1)学校給食、食育の充実について、栄養学的なこと、地産地消に加え、給食を通じて、マナーや良く噛む、食べ物を無駄にしないといった表現を追記してはどうか」といったご意見をいただきました。これにつきましては、近年の日本人の食生活の変化から、食育の必要性や重要性が紹介されて

いるため、皆さんに馴染みやすく、イメージしやすい表現を考慮し、「食生活」という表現にしております。

最後に、6頁の基本方針6をご覧ください。意見要旨欄中の2つ目「コミュニティ・スクールという表現を、どこかに入れれば」とのご意見につきましては、「(5)連携と参画による地域づくり」が、その趣旨を表現していますので、文言としては追加していません。

次に、A4縦サイズ、パンフレット形式の「資料3：岸和田市教育大綱(案)」をお願いします。これは、「岸和田市教育大綱」について、ほぼ、完成形をイメージしたものです。表紙をおめくりいただきますと、左頁には、大綱策定の背景、大綱の位置付け、大綱の対象期間を、右頁には、教育の現状と課題、及び教育の基本理念について記載しております。次に、両方をそれぞれ開いていただきますと、先ほど、資料2でご説明いたしました施策の方向性を、写真やイラストを交えて見開きでまとめております。最終頁には、教育大綱の構成イメージを、木になぞらえてイラストでお知らせしております。資料の説明は以上です。

<司 会>

本日は、岸和田市教育大綱案として、内容及び表現を確定していきたいと考えています。進め方としましては、頁ごとに、意見を頂戴しまして、ひとつひとつ固めていきたいと思っております。表紙を含めまして8頁までありますので、ご協力よろしく申し上げます。

それでは早速ですが、内容の議論に入りたいと思います。表紙から、ご意見を申し上げます。

<中野委員>

個人情報保護の関係で、写真について、ご本人の了解をいただくなど留意したほうが良いと思います。

<司 会>

事務局の方でも、配慮して写真を選定しております。

<樋口教育長>

岸和田市教育大綱は全体的にやわらかくなるよう策定していますが、表紙が漢字ばかりですので、教育大綱の文字の下あたりに「教育のまち岸和田 輝きビジョン」などと記載してはいかがでしょうか。プランですと計画になってしまいますので、大綱は方針や目標ですので、ビジョンが良いと思っています。

<司 会>

樋口教育長から、サブタイトルのご提案がありました、いかがでしょうか。

<中野委員>

仕上がりが暗いように思います。重みがあって良いのかもしれませんが、少し暗く感じます。

<司 会>

サブタイトルについても、そのような方向で進めてよろしいでしょうか。

(全員：異議なし)

続いて、開いていただいて、左が教育大綱の位置付けや計画期間等、右が教育の現状と課題や基本理念になっております。この部分について、ご意見を申し上げます。

<中野委員>

左の一番下の2行ですが、これは教育委員会が決めることだと思います。私は第3回の会議で教育委員会の主体性が薄くなるので本位ではないという意見を述べております。岸和田市教育実施計画という名称を教育委員会で決めたことはありません。事務局から見本としては提示されましたが、本位でない旨の意見を述べた第3回の前にでてきた内容で、教育委員会では、まだ決めていません。削除とは言いませんが、教育委員会自身で決めることですので、主体性が失われることがないように、ペンディングをしてもらって、教育委員会の会議で議論できればと思います。

<信貴市長>

記載しなければならない事項かも疑問ですね。

<中野委員>

これは教育委員会の内容です。関連して記載しているとは思いますが、大綱の中身ではないと思います。教育委員会で改めて協議をしてからということで、さしあたってはペンディングしてもらいたいと思います。

<信貴市長>

教育委員会で改めてご議論いただく必要があると思います。

<谷口委員長>

今後、教育委員会で議論させていただきます。

<野口委員長職務代理者>

教育の現状と課題についてですが、「核家族化の進行により地域社会と家庭や子どもの係わりが弱まっており、」とありますが、核家族化だけが原因ではないと思いますので、「核家族化の進行等により」としていただければと思います。

<樋口教育長>

教育の基本理念の文章部分についてですが、一文になっており長いので、『岸和田の教育は、～「みんなが輝くまち」を目指します。』と、一度文章を切った方が良いと思います。その後ろについては、市民の目標と子どもたちの目標が混じっているように感じますので、統制をとっていただければと思います。例えば、「子どもたちが夢や志を持ってたくましく生きること、市民が岸和田に愛着と誇りを持って自他の人権を尊重しながら、生涯にわたり楽しく豊かに学ぶこと」など文章を分割するか、短くし、わかりやすくしていただければと思います。

<中野委員>

この頁は、文章が非常に荒いように感じます。差し替えてもらえたら穏便かと思うのですが。

<司 会>

具体的には、どの部分でしょうか。

<中野委員>

教育の現状と課題について、教育方針のはじめの引用部分は良いと思うのですが、7～9

行目の内容についてです。特に、8行目の終わりに「社会が求める学力を身につけさせるための指導方法のあり方を深めていく必要があります。」とありますが、社会が求める学力とは何ですか。半世紀前に、期待される人間像という言葉がでて、だれが期待するのかと議論になりましたが、それに近いものがあります。「社会が求める学力」、社会というのは、いろんな要素がありますので、いろんな学力があり、それをすべて身につけるとするのは至難の業です。むしろ「社会を生き抜くための力」というように、児童・生徒を主体にした方が良いと思います。このままでは漠然としていて何かわかりません。また「身につけさせるため」という表現は古い表現で、これではお仕着せ教育になります。これは「育成する」という内容だと思っています。

文章の頭から申し上げます。「全国学力・学習状況調査結果を見ると」の“見ると”は、その下に“見られる”がありますので、「全国学力・学習状況調査結果において」が良いと思います。「岸和田市では、基礎的・基本的学力は定着しつつあるものの、活用する力は」とありますが、“活用する力には”とし、続いて「課題が見られるため、」とありますが、その後ろに“身につけさせるための”と“ため”出てきますので、ここは「課題が見られます。」と文章を切った方が良いと思います。そして後ろは、「問題解決的」とありますが、一般的には“問題解決型”と言いますので、「問題解決型の学習など、社会を生き抜く力を育成する指導方法の一層の充実に努める必要があります」とします。後ろの表現は、文章全体のバランスを見て直していただければと思います。

<司 会>

只今、中野委員から修正案をご提案いただきましたが、各委員いかがでしょうか。もう一度、修正案を読んでみます。「全国学力・学習調査結果において、岸和田市では、基礎的・基本的学力は定着しつつあるものの、活用する力には課題が見られます。特に、問題解決型の学習など社会を生き抜く力を育成する指導方法のさらなる充実に努める必要があります。」というご提案です。

<谷口委員長>

ご指摘いただいかたちで、良い表現になったと思います。

<野口委員長職務代理者>

「社会が求める学力」の表現に違和感を持っていたのですが、社会が求める学力というのは、子どもたちが主体的に生きていくことだと思いますので、「自ら主体的に生きていく学力を身につけられる」としてはいかがでしょうか。

<中野委員>

同じ意見です。社会が求めるのではなく、主体が子どもにあるべきです。

<司 会>

この頁については、只今いただきました内容に修正をすることによろしいでしょうか。

(全員：異議なし)

続いて資料を開いていただきますと、基本方針1から8までございます。前回の議論を踏まえまして修正をしております。基本方針全体を通しましてご意見を頂戴したいと思います。

<谷口委員長>

前回の意見がほぼ反映されていると思います。ただ、ひとつ表現についてですが、基本方針8の①「その保存と活用をします。」の表現に違和感があります。以前は「活用に努めます」だったのですが、表現をあわせようと修正されたのだと思いますが、以前のままでも良いのではないかと思います。

<中野委員>

基本方針3の③の「自己の存在感を実感できるよう」という表現がありますが、良く考えますと哲学的な表現です。「存在感を確立できるように」の方が良いと思います。

基本方針3の⑤について、先程、事務局から説明がありましたが「児童・生徒が岸和田や自国の文化や伝統に誇りを持ち」の“自国”について、岸和田で行われている教育は、教育基本法や学習指導要領に基づく、国民に対しての教育です。“自国”に拘られるのは、自国に“誇りを持ち”となっているからだと思います。学習指導要領では、“自国”という表現を使っていません。“我が国”という表現を使っています。「岸和田や我が国の文化と伝統を尊重し」とする方が良いと思います。前の“や”は岸和田と我が国を、後ろの“や”は文化と伝統をつなげていますので、区別した方が良いと思います。学習指導要領では“尊重”という表現を使っています。“誇り”となっているので、自国に拘られるのだと思います。続いて「理解を深め、自分の意思をしっかりと表現する能力を育めるよう」となっていますが、“能力を高めるよう”とする方が良いと思います。

“我が国”という表現には帰属意識が生まれてきますが、“自国”では薄らいでしまいます。岸和田に対しての帰属意識を高めるという意味では、岸和田の前に“我がまち”を加えて、「我がまち岸和田や我が国の文化と伝統を尊重し」としても良いと思います。“我がまち”については、全体のバランスを見て決めてもらえればと思います。

<司 会>

只今の中野委員のご意見について、各委員のご意見をお願いします。

<谷口委員長>

私も“自国”は“我が国”の方が良いと思いますが、“誇り”は残しておきたいと思います。また“文化や伝統”は“文化・伝統”または“文化伝統”でも良いと思います。自分の国に対して誇りがなければ、愛着精神も帰属精神もわいてこないと思いますので、我が国の文化・伝統に誇りと愛着を持つということで、私は良いと思います。

<野口委員長職務代理者>

日本国民としての子どもたちが我が国の文化や伝統に誇りを持つということと同時に、それぞれの国籍を持った子どもたちがそれぞれ国の文化や伝統に誇りを持つということ、教室のなかで子どもたち同士が理解し合うということが本当に大切です。現実の学校の子どもの様子を思い浮かべた時に、それぞれの子どもたちの国という意味で、私は“自国”にしていだければと思います。

<中野委員>

いろいろな解釈ができてきます。その場合の拠所となるのが学習指導要領だと思います。誇りも大事なことですが、学習指導要領では、“誇り”ではなく“尊重”としていますので、学

習指導要領の表現を使ってはどうかという意見です。

検討された結果で“自国”になったと思いますが、新たにこういう違う意見が出ていますので、現場を扱っているところに任せるということでいかがでしょうか。

<川岸委員>

この文章の“誇りを持ち”までが日本のことで、その後ろが諸外国となっていますので、ここで文章が別々のものと考えると、“我が国”で良いのではないかと私は判断しました。前の文章で、岸和田や日本の文化・伝統に誇りを持ち、後ろの文章で、諸外国のことを勉強する、つまり自分の国のことを知り、その上で国際性を育むという意味合いのことであり、別々の文章と理解をして良いのではないかと思います。ここで、“文化や伝統”についてですが、ひとつの言葉とする場合は“伝統文化”になるのではないかと思います。

<中野委員>

私も同じ判断をしています。

<樋口教育長>

市民の方にわかりやすいという視点では、川岸委員の言っていた内容がストレートだと思います。郷土岸和田と日本という国の伝統と文化、私も“伝統と文化”の方が良いと思います。“誇り”か“尊重”かについては微妙なところはあるかと思いますが、郷土愛については基本方針8の③で出ていますので、ここでは教育上のこと、国際性を育む教育のことですので、伝統と文化を尊重する教育という言葉が良くでてきますので、今、言っていた内容がわかりやすいと思います。

<信貴市長>

市長部局においても、諸外国の文化、習慣、価値観等の相互理解を深めるということで進めていますので、その方向で良いと思います。

<中野委員>

基本方針3については、もう少しあります。前回の意見のなかで“充実”という言葉を使っていこうという方向性があり、修正をされています。前回は、それ程、意識はしなかったのですが、教育方針で“充実”と言うのと、教育大綱で“充実”と言うのでは意味が違うと思います。無理な解釈をすれば、教育方針では、充実させましょうということですが、大綱になりますと、充実しなさいというような姿勢になってくると思います。もちろん充実させなければならないことですが、従来とは異なることを教育委員として意識しなければならないと思います。“充実”がこれほど並ぶと、市民が見た時に、今までの教育委員会は何をしていたのか、不十分なことばかりしていたのかとなる可能性があると思います。教育委員会として、また教育現場において、これまでも努力してきていますので、ひとつでも、ふたつでも充実という言葉を変えられることができる所は、変えてはどうかと思います。具体的には、⑤を「国際性を育む教育」に。文章の最後に“充実させます”とでてきていますので、タイトルに“充実”をいれなくとも良いと思います。⑥については「キャリア教育の推進」で意味は通じると思います。文章中に“充実させます”と出てきますので、タイトルを変えてはどうかと思います。

<谷口委員長>

“充実”の表現によって、教育委員会が何もしてこなかったとはならないと思いますが、確かにこの部分は、“充実”の表現がなくても良いと思います。

<樋口教育長>

基本方針3の⑤についても「国際性を育む教育の推進」としてはどうでしょうか。

<谷口委員長>

⑤を“推進”とすると、①も“推進”に、となるのではないのでしょうか。

<中野委員>

“充実”でなければ良いと思っています。方向性を示すなら“推進”をつけることになりませんが、「国際性を育む教育」で止めてもおかしくはないと思います。全体のバランスもあると思いますので、事務局で調整してもらえればと思います。

<谷口委員長>

写真についてですが、他は方針に沿った写真だと思うのですが、基本方針3はどういうシーンを表している写真でしょうか。

<樋口教育長>

生徒会で募金活動を行っている写真です。

<司 会>

その他、基本方針1～8について、ご意見ございませんでしょうか。

(全員：意見なし)

続きまして、裏表紙についてご意見をお願いします。

<野口委員長職務代理者>

木の実の順番について、何か意味があれば教えて下さい。

<事務局>

順番について、特段の意味はございません。

<谷口委員長>

左側は「郷土愛」を一番下にし、「夢」や「自己実現」を上、右側は「たゆまぬ努力」を一番下にした方が良いと思います。

<司 会>

全体を通しまして、何かご意見ありましたらお願いします。

(全員：意見なし)

本日、頂戴しましたご意見につきましては、事務局で修正をさせていただきます。後程、スケジュールにも出てまいります。年明けに、パブリックコメントの実施を予定しておりますので、修正案につきましては、市長及び谷口委員長にご確認いただき、パブリックコメントを実施させていただきたいと思っております。パブリックコメント実施後に、総合教育会議を

開催し、市民の皆さんのご意見も踏まえまして、決定していくという進め方で、よろしいでしょうか。

(全員：異議なし)

それでは、次回の日程についての説明を事務局からお願いします。

<事務局>

次回についてですが、先程、森口部長から説明いたしましたとおり、本日ご議論いただいた件を踏まえて修正を行い、市長及び委員長にご確認いただき、その案を持って1月4日から2月4日の1ヶ月間パブリックコメントを実施したいと考えております。その後、パブリックコメントで市民の方からいただいたご意見を受けまして、次回の総合教育会議で、ご議論をいただく予定をしておりますので、よろしくをお願いします。

次回の具体的な日程案につきましては、2月15日(月)の開催をご提案したいと思います。時間等詳細につきましては、2月中旬は、例年、議会開催時期にあたりますので、議会の日程が決まり次第、改めて調整をさせていただけたらと思います。

<司 会>

只今、事務局から提案のありました2月15日について、委員の皆様 何かありましたらお願いします。

(全員：異議なし)

それでは、今回は2月15日(月)をご予定いただけますようお願いいたします。

<中野委員>

その他事項として、事務局の方から何か報告すべきことはありませんか。

法律では、地方公共団体の長は、総合教育会議の終了後、遅滞なく、総合教育会議の定めるところにより、その議事録を作成し、これを公表するよう努めなければならないとあります。第3回の会議開催後70日あまり経ちます。市のホームページには掲載されておりますが、私達の手元には届いておりません。市民に問われても、私達の手元にはありません。自らの発言に責任を持っておりますが、このままでは、市長の責任になります。会議では、対等の立場で、我々も責任を担うので、このまま放置してはいけないと思って申し上げました。なぜ遅れているのですか。

<事務局>

会議録を作成し、市ホームページに公開しておりましたのに、委員の皆様には郵送できておらず申し訳ありません。すぐに郵送させていただきますので、宜しくお願いします。

<司 会>

その他、委員の皆様 よろしいでしょうか。

(全員：意見なし)

それでは、本日の会議事項は、全て終了いたします。市長、閉会の挨拶をお願いします。

<信貴市長>

先程、中野委員よりご指摘のありました会議録の送付が遅れております件について、この場をおかりしてお詫び申し上げます。以後、このようなことがないように市長部局として連携を取りながら、迅速に進めてまいりたいと思います。

以上を持ちまして第5回総合教育会議を閉会いたします。また、寒さも日増しに厳しくな
ってまいりました。どうぞご家族おそろいで輝かしい新春を迎えられますことを心からお祈
り申し上げます、閉会の挨拶とさせていただきます。委員の皆様、長時間のご議論ありが
とうございました。

市 長

署名委員